

《担当者名》野川道子（非） [mnogawa@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

病気・障害認識に関する各種理論・モデルを提示し、その学問的背景、内容、研究の動向について批判的に検討する。

【学修目標】

1. 病気・障害認識に関する研究を概観して述べることができる。
2. 病気・障害に関する個人・家族の体験を各種理論・モデルで読み解くことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	病気や障害認識に関する研究の概観	関連する海外文献を収集し、研究の動向を検討する。	野川
3 ) 4	心理的適応に注目している理論、モデル	・段階理論、危機理論 ・ストレスコーピング、病気の不確かさ理論	野川
5 ) 7	自己の崩壊や再構築に注目している、理論、モデル	・ビューイの生活史の崩壊 ・ヨシダの振り子理論 ・シャーマズの自己の喪失	野川
8	まとめ	学生の関心領域の病者の体験に照らして、心理的適応モデルと自己の崩壊・再構築モデルについて批判的検討を行う。	野川

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ゼミへの準備状況(30%)、ゼミでの学習の深まり状態(30%)、課題レポート(40%)

【教科書】

なし

【参考書】

随時提示する。

【学修の準備】

提示された文献を熟読し、疑問点を明らかにして授業に臨むこと。